

法人（事業所）理念		こどもの生き抜く力を育み、あらゆるジリツ【自立、自律】を受け入れる共生社会の実現を目指します		
支援方針		自分らしく生き抜くために、人への信頼感をもち、自己肯定感・自己効力感を育みます。 ①表現・記憶力 ②思考・推理力 ③ 集中力 ④自己コントロールの力をつけ、一人でできることを増やすための支援を行っています。		
営業時間		火曜日～金曜日 12：30～21：30 土曜日 9：00～18：00	送迎実施の有無	送迎あり
		支援内容		
本人支援	健康・生活	個別活動では給食の献立や自宅での食事メニューについて振り返る機会を設け、基本となる5つの栄養素について学びます。調理活動では簡単な料理やお菓子を作り、その原材料を知り、料理に関心を持ってもらうようにします。		
	運動・感覚	あらゆる動作の基本となる体幹や、ケガなく健康に過ごすための柔軟性を養うストレッチ活動を取り入れています。継続して取り組むことで、筋肉・関節の柔軟性や可動域の拡大、身体操作能力・体幹の安定性の向上、正しい姿勢の獲得・維持を目指します。		
	認知・行動	利用児の特性に応じたプリント学習で文章を読んだり、指示を聞いて相手の意図を正確につかんで行動する力を身に付けます。論理的思考力や戦略性を必要とするゲームに取り組むことで、楽しみながら力を身に付けていきます。		
	言語・コミュニケーション	プリント学習で実際の出来事などを順序立てて説明したり、気持ちや考えを適切に言語化したりする課題に取り組みます。自分の意見を伝え相手の意見を聞くアナログゲームに取り組み、同世代の利用児とのやりとりを経験し実践的なコミュニケーションを養います。		
	人間関係・社会性	外出活動で公共交通機関や徒歩で出かけ、実際に買い物などを体験します。地域の祭りやイベントに参加し、公共施設、美術館などを利用することで公共の場での振舞い方などを身に付けて行きます。		
家族支援		・教室で気になることがあれば保護者に報告し、聴き取りを行います。 ・子どもの発達上の課題についての気づきを促し、家庭と連携してその後の支援に取り組みます。 ・関係者・関係機関との連携による支援体制を構築します。		
移行支援		・具体的な意向を想定した子どもの発達の評価を行い、保護者の意向確認や状況共有を行います。 ・他関連機関との連携をはかり、支援体制を構築します。		
地域支援・地域連携		・地域の公共施設を利用し、地域資源を活用しています。 ・学校、福祉サービス等と連絡を取ったり連携会議等を行って情報共有しています。		
職員の質の向上		・年に2回以上の外部研修を受講し、こどもの特性に応じた対応など、職員の資質向上に努めます。		
主な行事等		外出活動（地域イベント、行楽地、公共施設、商業施設等） 調理活動（クリスマス、ハロウィン、バーベキュー等）		